

令和4年度 六大学との連携事業一覧(その他)

「大学」、「主な対象者」は下記の順に記載

「大学」(足立区での開学・開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数	
127	調査研究	東京未来大学	—	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部 こども心理学科	横畑泰希准教授	公園あそび(冒険あそび)にて、こどもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。 また、プレイリーダー養成に関する指導もお願いする。	オンライン	10/7、2/28	6人	
128		帝京科学大学	—	フレイル予防	医療科学部東京 理学療法学科	奥田裕講師	理学療法学科の奥田先生より、地域の高齢者の体力測定とリハビリについて、自主サークル活動中の方を対象に測定値を図り、今後の研究に生かす。	対面	3/8	12人	
129			—	「足立区地域在住高齢者に対する身体活動量に影響する因子の検討」協力	医療科学部東京 理学療法学科	奥田裕講師、小山優美 子助教	左記研究を行うにあたり、当課の事業「はじめてのフレイル予防教室」「高齢者体力測定会」での対象者勧誘を実施。	対面	6/23、7/16	4人	
130			—	ふれあい動物およびふれあいコーナーの改善に関する共同研究	生命環境学部ア ニマルサイエンス 学科	並木美佐子教授	モルモットなどのふれあい動物に対して、ふれあいとストレスの関連、スタッフや来園者との関わりについて共同研究を行う。	対面	9/12、11/7 11/14	15人	
131		文教大学	—	国際ボランティア学会	国際学部 国際理解学科	林薫教授	国際ボランティア学術大会は、ボランティアに関わる研究者・実践者たちにより開催されるボランティア活動の情報発信、交流の場で、今回は文教大学東京あだちキャンパスが開催地となった。1日目は、午前午後各研究者の発表を行い、夕方公開シンポジウム(共通論議セッション)を行った。公開シンポジウムでは足立区の課題と協働・協創について協働・協創推進課の栗木課長と区内NPO団体が講演した。2日目は足立区およびUR都市機構が推進する「竹の塚まちづくりラボ」のイベント、区内で子どもの居場所作り活動を行う一般社団法人おせっかいプロジェクトの見学。	対面	2/18、19	1人	
132			—	卒業研究	—	長谷川幸子非常勤講師	生物園をフィールドとした卒業研究における資料の提供や調査地としての協力。	対面	随時	6人	
133			—	特別支援教育における研究交流事業	教育学部特別支 援教育専修	小野里美帆教授	研究交流事業として、研究学生受入校を募集。教授による支援を要する児童(受入校1校につき1人)の行動観察・助言指導及び研究学生による週1回の支援。受入校との合同会議、全小中学校教員等を対象に報告会を実施。	対面	7月～2月	41人	
134	実習生等受入	帝京科学大学	大学生	帝京科学大学社会福祉士養成実習(相談援助実習)受入れ	医療科学部	—	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	8/12～9/22	1人	
135				看護実習	医療科学部 看護学科	—	現場実習。	対面	随時	6人	
136				社会福祉士実習	医療科学部 医療福祉学科	浅沼太郎講師	現場実習。	対面	8月	1人	
137				インターンシップ	生命環境学部ア ニマルサイエンス 学科	戸澤あきつ講師(東京 農業大学)	生物学や飼育を専門にしている学生に、キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	3/1～3/10	1人	
138		文教大学	大学生	臨床心理実習	人間科学研究科 臨床心理学専攻	—	大学院生2名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	通年	80人	
139				心理実習	人間科学部臨床 心理学科	—	学部生7名をこども支援センターげんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明した。	対面	6/29	7人	
140	帝京科学大学/文教大学	大学生	学芸員実習	—	沖永荘八学長/中島茂学長	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/21～8/30	7人		
141	企業等連携	東京電機大学	全区民	産学連携技術促進事業 技術相談事業	研究推進社会 連携センター	小島芳和コーディネーター	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	通年	58人	
142		東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	—	—	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタビュー。区内企業との商品開発。	対面 オンライン	通年	127人	
143	事業周知	六大学	大学生	アヤセ未来会議2022	—	—	参加者一人ひとりの“街でやりたい、やってみよう”という思いを掘り下げながら、綾瀬をさらに良い街にしていきたいために必要なアイデアを参加者同士が話し合い、実践していくワークショップ「アヤセ未来会議2022」の参加者募集チラシの配布を依頼。	—	10/14	—	
144				「足立区拉致問題等啓発推進条例制定記念講演会」チラシの配布協力	—	—	令和3年7月に施行した「足立区拉致問題等啓発推進条例」の制定を記念した講演会の実施に伴い、若年者への啓発の一環として、大学構内でのチラシ配布の協力を依頼した。	—	4/18	—	
145				「原爆・平和・戦争を考える展示会」の学生ボランティア応募チラシ配布協力	—	—	—	足立区原爆被害者の会(足友会)主催で8月に実施している「原爆・平和・戦争を考える展示会」における学生ボランティアの募集。高齢化する会員の運営補助や、若年者への継承を目的としている。	—	6/27	—
146				オウム真理教勧誘防止チラシ配付の協力	—	—	—	新入生を対象にオウム真理教についての注意喚起チラシを配付し、若い世代の入信を防止する。	—	3/9	—
147				自宅での自転車へ鍵掛け啓発チラシの配付の協力	—	—	—	刑法犯認知件数のうち自転車盗が3割を占めており、そのうちの約6割が自宅で被害に遭っていることを周知し、自宅での鍵掛けを啓発する。	—	3/9	—
148				令和4年刑法犯認知件数周知チラシの配付の協力	—	—	—	令和4年は刑法犯認知件数が5年ぶりに増加した。毎年ダントツで件数が多いのは自転車盗。被害にあっているのは圧倒的に10代20代であり、自転車の鍵掛けを啓発する。	—	3月下旬	—
149				客引き行為等防止条例周知チラシの配付の協力	—	—	—	令和5年4月1日から「客引き行為等の防止に関する条例」が施行されることに伴い、客引き行為等についていけないということを啓発する。	—	3月下旬	—
150				「若者向け相談事例集の配布」の協力	—	—	—	令和4年に成年年齢引き下げに関する若者向けの相談事例集を作成した。作成物について各大学に配布の協力を依頼した。	—	3/2、3/13	—
151				「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクール応募チラシの配布	—	—	—	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。小・中学生だけでなく一般からも募集しているため、大学生に周知するため配付を依頼。	—	8月～10月	—
152				「スクールアシスタント募集」チラシ配布の協力	—	—	—	スクールアシスタント募集のチラシを区内六大学に配布し、事業周知をすることで、スクールアシスタントの充実を図る。	—	4/28	—
153	補助金	東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会 連携センター	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	—	通年	—	